

## 川崎市青少年科学館紀要 投稿規定

### 内容・目的・編集方針

1. 本誌には、特に川崎市とその周辺地域の自然誌（史）に関する論文、短報または記録、標本目録などを投稿することができる。投稿される内容は、自然科学（主に生物学および天文学など）に関わるものを原則とする。
2. 投稿者は科学館職員（市職員）や川崎市民を原則とするが、科学館の活動あるいは川崎市域に関わる内容を含むものは、広く一般から投稿を受け付ける。
3. 発行は年1回で、12月末（年内業務最終日）を原稿締切日、翌年3月末日を発行予定日とする。
4. 本誌原稿は編集委員会（館長を含む館職員若干名）によって回覧・輪読され、その採否や掲載の順序は、同委員会の決定に全て一任されるものとする。査読制は取っていないが、原稿の受付（受領）に際し、原稿の体裁や内容に著しく不備がある場合は、編集事務担当の提案の後、編集委員長長の同意を経て受領却下（エディターリジェクト）を行うことがある。

### 投稿・改訂・著者校正

5. 原稿は論著の区分等を記入した執筆意向申出票（投稿カード）を、11月末日までに編集事務担当に投稿する（手渡し・郵送・電子投稿）。一通のメールのサイズは5MB程度までとし、ファイルサイズが大きい際は、複数のメールで分割投稿するか、CD-Rなどの電子媒体による郵送等で行う。論文の区分は、既号に掲載の類似の論著を参考に、著者が選択する。
6. 投稿者と編集者間のやりとりや通知は、電子メールや口頭で行うが、郵送・朱書きのやり取りを行うこともある。
7. 論著が採択された場合は、編集委員会による修正の依頼等を反映した原稿と図版を編集者に送付する。期限は採択の通知を受けた日から10日程度とし、詳細については編集担当者より連絡する。
8. 掲載論著の著者校正は初校のみとし、期間は1週間程度とする。詳細については編集担

当者より連絡する。

9. 掲載論文は原則として、紙媒体での出版後に、当館のホームページ上において電子ファイルで公開（PDF）するものとする。なお、論著の著作権は当館が所有するものとするが、挿図（業務著作以外の写真を含む）に関しては作成者に帰属する。
10. 論文の内容に関する責任は、著者個人が負うものとする。

付則. 本規定は 2016 年 10 月 21 日から実施する（2016 年 10 月 21 日改定）。

## 川崎市青少年科学館紀要 投稿者への指針

投稿を考えている人は、下記の「投稿者への指針」に必ず目を通し、事前に原稿の体裁や内容を整える。また、科学論文の書き方については、市販されている各種の関連書籍などを参考にするとよい。

1. 投稿に際し、可能であれば事前に当該分野の専門家の校閲を受けることが望ましい。共著者がいる場合、必ず共著者間で原稿のチェックを終えたのちに投稿する。

- 1) 原稿は簡潔明瞭とすることに努め、原著論文においては、不必要に長い考察や論理的に曖昧な推定の羅列は避ける。
- 2) 原著論文や短報などの表現については、当該分野の学術雑誌をよく読み、文書の構成や論理的な表現について十分に参考にする。学術雑誌は県立図書館や博物館のライブラリーに収蔵されているほか、最近はオンラインでオープンアクセスの雑誌も増えているので、適宜参考にする。
- 3) 引用文献については、表記のミスや引用・記載漏れがないように、実際に引用しているか、またはそれが引用文献として書かれているかを、投稿前に確認する。
- 4) 図表の体裁が不十分なケースが散見される。作成に際して不明な場合は、投稿前に編集事務担当へ相談することが望ましい。

2. 原稿の体裁

- 1) 提出原稿は、原則としてパソコンの文書作成ソフトウェア（Microsoft Word）で作成する。ファイルの設定は基本的には、A4判の縦置き横書き、文字サイズは10.5ポイント、行間2.0行（ダブルスペース）、余白は上下左右3cm以上とする。文章は両端揃えで、字体の指定（ボールドやイタリック）や文字飾りは、文書作成ソフトウェア上で行う。文字のフォントは、和文は「MS明朝」、英文と数字は「Times New Roman」とする。英数字は半角とし、句点、読点はそれぞれ全角で「。」および「、」とする。文体は、謝辞を含めて「である調」を用いる。
- 2) タイトルの下には英文タイトルを入れる。
- 3) 著者の所属機関または自宅などの連絡先を、原稿の末尾に入れる。
- 4) 論著の区分は、1) 原著論文、2) 記録・報告（短報や普及的記事等を含む）、3) 目録（自然史資料（標本等））の3区分とし、基本的に、タイトル・著者名・諸言（はじめに）・材料および方法・結果・考察・謝辞・引用文献といった順で作成し、図表がある場合は解説を末尾につける。

3. 学名はイタリック体とし、下線は引かない（命名者はイタリックにしない）。

例: *Drilaster akakanajai* Kawashima, Satou & Satô, 2003

4. 見出しはゴシック体とする。

例: はじめに 結果と考察

5. 人名の2字目以降のsmallキャピタル（小型英大文字）化は行わず、小文字にする。

例: KAWASHIMA(×) → Kawashima(○)

6. 本文中での文献の引用は、著者名と年号（必要に応じて丸括弧で囲む）を明記する。丸括弧および年号の数字は半角で書く（引用文献も同様）。

（文献引用の記載例: ◇は半角スペースを表す）

1) 報告を主語にする場合の例

川島・堀内◇(2016)、永井ほか◇(2015)、Kawashima◇&◇Satô◇(2003)、Kawashima◇*et al.*◇(2016) 例: 永井ほか◇(2015) によると…

2) 報告を引用する場合の例

(川島・高梨,◇2016)、(川島ほか,◇2016)、(Kawashima◇&◇Satô,◇2003)、(Kawashima◇*et al.*,◇2016) 例: ~のような記録が報告されている(川島・堀内,◇2016)。

7. 引用文献は、本文中に引用したものだけを、著者名、発行年（西暦）、表題、雑誌または書名、巻、号、頁の順に記す。雑誌巻数はボールド（太字）とし、雑誌名は略さない。英文誌名はイタリックとする。号数はボールドとせずに丸括弧で囲む。書籍は出版社名とその所在地を記入する。なお、また、並べ方は著者名のABC順とし、同著者名が2つ以上ある場合は年次順に並べる。さらに同一年の場合は、日付順にa、b、c・・・と付して区別する。

（引用文献の記載例: ◇は半角スペースを表す）

1) 雑誌の論文等を引用する場合

a. 和文論文

鈴木邦雄・川島逸郎,◇2007.◇◇「奈良坂源一郎◇蟲魚図譜」に描かれた昆虫類.◇名古屋大学博物館報告,◇(22):◇211-247.

b. 英文論文

Kawashima,◇I.◇&◇M.◇Satô,◇2001.◇◇Three◇new◇species◇of◇the◇genus◇*Rhagophthalmus*◇(Coleoptera,◇Rhagophthalmidae)◇from◇southeast◇

Asia.◇*Elytra*,◇29:◇423-434.

c. 同年に出版された同一著者による論文

Sasamoto,◇A.◇&◇I.◇Kawashima,◇2009a.◇◇Description◇of◇the◇last◇instar◇larva◇of◇*Hylaeothemis◇clementia*◇Ris◇from◇Laos◇(Anisoptera,◇Libellulidae).◇*Odonatologica*,◇38:◇373-378.

Sasamoto,◇A.◇&◇I.◇Kawashima,◇2009b.◇◇Description◇of◇the◇last◇instar◇larva◇of◇*Nepogomphus◇walli*◇Fraser,◇1939◇(Anisoptera,◇Gomphidae)◇from◇Malaysia,◇southeastern◇Asia.◇*Tombo*,◇52:◇7-12.

2) 書籍を引用する場合

a. 和書の一部

川島逸郎,◇2000.◇◇ニッポンハナダカバチ◇砂地だけにすむ狩人.◇pp.◇127-129,◇*In*:◇横須賀市自然・人文博物館◇(編),◇三浦半島◇自然と人文の世界,◇257◇pp,◇かなしん出版,◇横浜.

b. 和書の全体

尾園◇暁・川島逸郎・二橋◇亮,◇2012.◇◇ネイチャーガイド◇日本のトンボ.◇531◇pp.,◇文一総合出版,◇東京.

c. 洋書の一部

Kawashima,◇I.,◇Lawrence,◇J.◇F.◇&◇M.◇Branham,◇2010.◇◇Family◇Rhagophthalmidae.◇pp.◇135-140.,◇*In*:◇Leschen,◇R.,◇Beutel,◇R.◇&◇J.◇F.◇Lawrence◇(eds.),◇*Handbook◇of◇Zoology,◇Vol.◇IV.◇Arthropoda,◇Insecta,◇Part◇38.◇Coleoptera◇Vol.◇2.*

d. 洋書の全体 (執筆者の分担部分が不明瞭な場合を含む)

Leschen,◇R.,◇Beutel,◇R.◇&◇J.◇F.◇Lawrence◇(eds.),◇*Handbook◇of◇Zoology,◇Vol.◇IV.◇Arthropoda,◇Insecta,◇Part◇38.◇Coleoptera◇Vol.◇2.*

e. 訳本 (内容を引用)

ハンセン◇(Hansen,◇V.◇L.),◇1989.◇◇*Geometry◇in◇nature*.◇井川俊彦◇(訳),◇1994,◇自然の中の幾何学,◇190◇pp.◇トッパン,◇東京.

8. 電子文献については、引用文献中に併せて記すものとし、電子ジャーナルの情報の書き

方は、著者名、発行年（西暦）、表題、雑誌名等、巻、号、頁、媒体の順に記す。CD-ROMなどの情報媒体の書き方は、著者名、発行年（西暦）、表題、出版社名、出版都市名、媒体とする。ウェブサイトより情報を引用する場合は、著者（編者）、表題、URL、閲覧した日付の順に記す。

1) 電子ジャーナルより引用

Rahbek, ◇ C. ◇ & ◇ G. ◇ R. ◇ Graves, ◇ 2001. ◇ ◇ Multiscale ◇ assessment ◇ of ◇ patterns ◇ of ◇ avian ◇ species ◇ richness. ◇ *Proceedings ◇ of ◇ National ◇ Academy ◇ of ◇ Science, ◇ USA, ◇ 98: ◇ 4534-4539. ◇ (Online journal).*

2) CD-ROM、DVD-ROM などより引用

Prast, ◇ W. ◇ & ◇ J. ◇ Shamoun, ◇ 1997. ◇ ◇ Bird ◇ remains ◇ identification ◇ system. ◇ Springer-Verlag, ◇ Berlin ◇ & ◇ Heidelberg. ◇ (CD-ROM).

3) ウェブサイトより引用

神奈川県, ◇ online. ◇ ◇ 神奈川県立生命の星・地球博物館, ◇ 2004. ◇ ◇ 神奈川県レッドデータブック ◇ 1995 年改訂版. ◇ ◇ <http://e-tanzawa.agri.pref.kanagawa.jp/rdb/> ◇ (accessed ◇ on ◇ 2005-October-10).

Watanabe ◇ K., ◇ online. ◇ ◇ Information ◇ station ◇ of ◇ Parasitoid ◇ wasps. ◇ ◇ <http://himebati.jimdo.com/> ◇ (accessed ◇ on ◇ 2013-November-5).

9. 図表の画像解像度は、線画では 650 dpi、写真では 350 dpi 以上とする。表は 1200 dpi 以上とするか、Excel 等のファイルを直接投稿する。グレースケールかモノクロによる掲載になるため、それらに準じたファイルを用意する。図のファイルは PDF か JPEG で作成する。小さな図が複数ある場合は、写真や図など、それぞれをまとめて一枚のプレートにし、省スペースにつとめる。地図を掲載する場合、東西南北の北は矢印（真北）にし、4 の字型（磁北）にしない。図には番号をつけ、必要に応じて A, B, C... とする（例: 図 1A, 2B, 6）。番号や矢印、文字のサイズは印刷時のサイズも勘案して記入する。

10. 図表の解説・説明は原稿の末尾に記入する。図 (Figure) の解説は下に、表 (Table) の解説は上に記入する。

11. その他詳細については、最近の既刊号を参考にする。また、不明な点は投稿前に編集事務担当に問い合わせる。